

緩和ケアチームニュース

ナルベイン®注・・・どうやって使うの？

ヒドロモルフォンが3製剤揃いました！

- ◆ナルサス®錠（徐放性製剤）
- ◆ナルラピド®錠（即放性製剤）
- ◆ナルベイン®注（注射製剤）

同じオピオイドで
内服↔注射の切り替えが可能に

どんな良いところがあるの？

- 利点① オキファスト®注やフェンタニル®注より**薬物相互作用が少ない**
- 利点② **皮下注で高用量**のオピオイドが使用できる



オキファスト®注

10 mL
(100 mg)



ナルベイン®注 (0.2%)
2 mg/ 1 mL

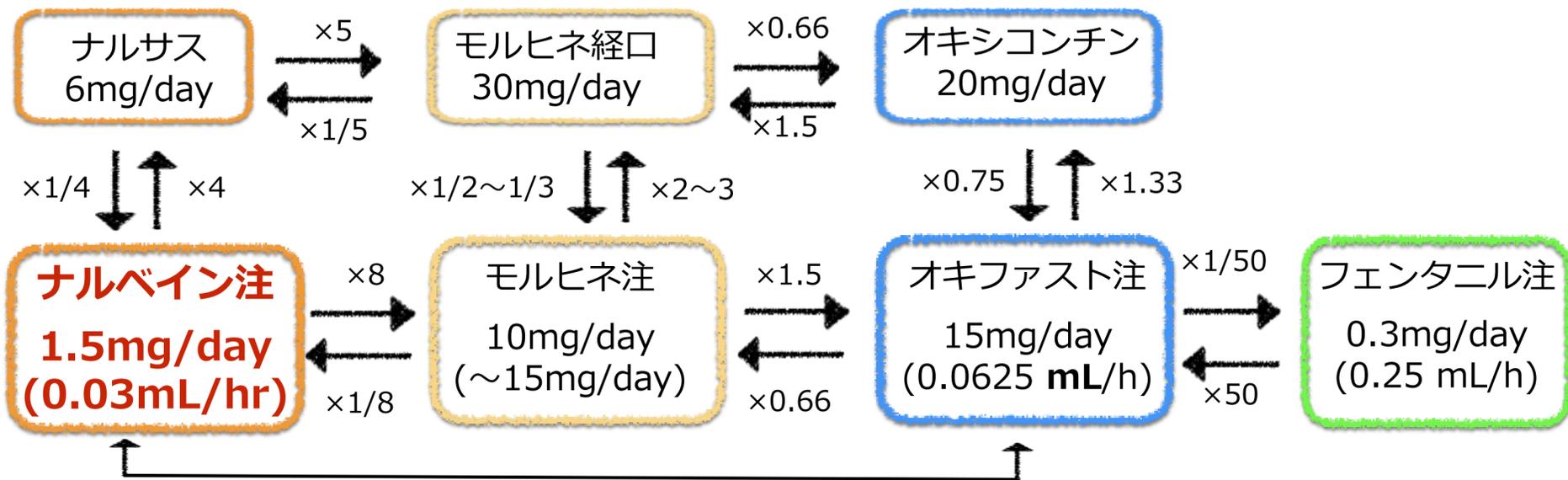
5 mL
(10 mg)



ナルベイン®注 (1%)
20 mg/ 2 mL **(高濃度)**

1 mL
(10 mg)

《参考》オピオイド換算比（目安）



オキファスト注 10 mL (100 mg)
 ≒ナルベイン注 0.2% 5 mL (10 mg)
 =ナルベイン注 1% (高濃度) 1 mL (10 mg)

POINT!
ナルベイン注 0.2%の液量 (mL) はオキファスト注の半分です

◆処方例（導入時）

ナルサス 2mg/日相当
 ≒オキシコドン徐放錠6.6mg相当

生理食塩水 8 mL
 0.2%ナルベイン 2 mL

計10 mL 0.05 mL/h

例：レスキュー0.5 mL ≒ナルラピド0.8 mg



新しいオピオイド換算表ができました！
 当センターのHP（緩和ケア科）に
 アクセスしてください！